

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日
上場取引所 東

上場会社名 石光商事株式会社
 コード番号 2750 URL http://www.ishimitsu.co.jp
 代表者(役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名) 森本 茂
 問合せ先責任者(役職名)常務取締役執行役員管理部門長 (氏名) 山根 清文 (TEL) 078-861-7791(代表)
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	8,314	△1.6	140	769.9	115	—	39	—
25年3月期第1四半期	8,451	△2.2	16	—	△0	—	△22	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △83百万円(—%) 25年3月期第1四半期 △205百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	5.14	—
25年3月期第1四半期	△2.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	19,323	7,423	37.5
25年3月期	19,230	7,579	38.5

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 7,239百万円 25年3月期 7,398百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,611	1.2	185	208.0	74	—	13	—	1.72
通期	34,680	6.4	334	△18.3	113	—	5	—	0.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	8,000,000株	25年3月期	8,000,000株
26年3月期1Q	291,711株	25年3月期	291,711株
26年3月期1Q	7,708,289株	25年3月期1Q	7,708,340株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権下における経済対策や日銀による大胆な金融緩和に対する期待感から円安・株高が進行するなど、景気は回復の動きがみられたものの、いまだ実体経済の回復には至らず、また欧州・中国等の海外経済の下振れ懸念を残しております。

当社グループの主力マーケットである食品業界におきましても、消費者の節約志向や低価格化による販売競争、円安による原材料価格の高騰などもあり収益を圧迫する厳しい状況が続いております。

また、コーヒー業界におきましては、コーヒー生豆相場が前期からの緩やかな下降傾向で推移いたしました。なお先行き不透明な状況であります。

このような状況のなか、当社グループは現在推進中である売上高500億円をめざす新成長戦略「GO GO PLAN」達成に向けて、当連結会計年度は事業運営体制の強化として「営業力強化」「業務効率の向上」「品質管理の充実」、事業拡大として「新規事業・新商品開発」「新規顧客開拓」「海外事業」に取り組んでおります。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は8,314百万円（前年同期比1.6%減少）となりましたが、利益面につきましては売上総利益率の上昇等により営業利益は140百万円（前年同期比769.9%増加）となりました。また、経常利益は115百万円（前年同期は0.3百万円の経常損失）、四半期純利益は39百万円（前年同期は22百万円の四半期純損失）となりました。

各部門別の状況は次のとおりであります。なお、当連結会計年度期首より組織変更を行ったため、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① コーヒー・飲料部門

1) コーヒー生豆

コーヒー生豆のニューヨーク市場価格は、需給緩和と生産国の通貨安の影響により緩やかに下落いたしました。

前期に引き続き、プレミアムコーヒーの販売拡大、品質重視の顧客への取組強化、コーヒー加工品・飲料事業と一体化し新市場開拓を進めた結果、販売袋数は増加し、利益率は上昇いたしました。しかしながら、コーヒー生豆相場の下落に伴い販売単価は低下いたしました。その結果、コーヒー生豆の売上高は前年同期比17.7%減少いたしました。

2) コーヒー加工品

レギュラーコーヒーは、新製品および新規取引先の獲得によりコーヒーバッグの販売数量が順調に拡大し、原料安により利益率も上昇いたしました。

インスタントコーヒーは、為替相場の影響によりコストが上昇し、価格転嫁が思うように進みませんでした。しかしながら、飲料メーカー向け原料の販売が順調に推移いたしました。

その結果、コーヒー加工品の売上高は前年同期比3.9%増加いたしました。

3) 飲料事業

茶類の売上高は、緑茶・ウーロン茶バルク商品等が増加いたしました。しかしながら、紅茶製品は減少いたしました。

飲料原料は、飲料メーカー向け原料の販売が伸び悩んだため、減少いたしました。

その結果、飲料事業の売上高は前年同期比2.8%増加いたしました。

これらの理由によりコーヒー・飲料部門の売上高は2,579百万円（前年同期比7.9%減少）となりました。

② 食品部門

1) 加工食品

フルーツや野菜の加工食品は、ミカン・桃等のフルーツ缶詰が伸長したものの、コーン等の野菜加工缶詰の売上高が減少したため前年同期比0.4%減少いたしました。

イタリアからの輸入食品は、オリーブオイルが為替相場の変動に伴うコストアップの価格転嫁を図りつつ増加いたしました。しかしながら、前期切り替えを行ったパスタブランドの浸透が遅れたため、売上高は前年同期比9.9%減少いたしました。

国内メーカー商品のうち常温食品の売上高は前年同期比0.5%増加、冷凍食品の売上高は前年同期比4.6%減少いたしました。

2) 水産および調理冷蔵

水産は、主力商品であるエビ加工品が生産地での病害発生による品不足および円安に伴うコストアップを見通した需要の高まりにより増加いたしました。その結果、売上高は前年同期比13.3%増加いたしました。

調理冷蔵は、既存取引先への売上高減少、タイ産チキンの入荷遅れによる品不足により低迷いたしました。その結果、売上高は前年同期比3.3%減少いたしました。

3) 農産

農産は、外食チェーン店向けの蓮根・筍等の加工品、食品メーカー向けのトマト原料、生鮮野菜の牛蒡・人参は引き続き好調でしたが、レタス、梅および玉葱等は販売不振でした。その結果、売上高は前年同期比4.8%減少いたしました。

これらの理由により食品部門の売上高は4,935百万円（前年同期比0.1%増加）となりました。

③ 海外事業部門

輸出は、円安基調を背景に、欧州・アメリカ・東南アジアの既存輸出先が順調に回復し、新規開拓、三国間貿易も業績に貢献したため、海外事業部門の売上高は799百万円（前年同期比10.6%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、資産合計は19,323百万円となり、前連結会計年度末に比べ92百万円の増加となりました。これは主に売上債権が増加したことによります。

負債合計は11,899百万円となり、前連結会計年度末に比べ248百万円の増加となりました。これは主に借入金および未払法人税等の減少に対し、仕入債務が増加したことによります。

純資産合計は7,423百万円となり、前連結会計年度末に比べ156百万円の減少となりました。これは主に当第1四半期連結累計期間の四半期純利益39百万円に対し、配当金の支払い77百万円および繰延ヘッジ損益の減少150百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,674,576	2,576,391
受取手形及び売掛金	6,231,316	6,588,507
商品及び製品	3,239,651	3,460,533
未着商品	675,660	548,981
仕掛品	13,039	8,181
原材料及び貯蔵品	71,102	69,277
その他	426,236	272,019
貸倒引当金	△13,343	△12,585
流動資産合計	13,318,240	13,511,305
固定資産		
有形固定資産	2,830,885	2,806,473
無形固定資産	68,780	55,698
投資その他の資産		
投資有価証券	2,575,554	2,584,856
その他	535,328	461,603
貸倒引当金	△104,603	△102,234
投資その他の資産合計	3,006,280	2,944,225
固定資産合計	5,905,946	5,806,397
繰延資産	6,318	5,414
資産合計	19,230,505	19,323,117

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,127,770	3,601,751
短期借入金	936,800	1,201,600
1年内償還予定の社債	180,000	180,000
1年内返済予定の長期借入金	1,498,800	1,459,800
未払法人税等	132,536	7,380
賞与引当金	125,487	80,309
その他	1,230,061	1,435,566
流動負債合計	7,231,456	7,966,408
固定負債		
社債	370,000	300,000
長期借入金	3,203,600	2,869,900
退職給付引当金	119,720	105,066
その他	726,158	658,459
固定負債合計	4,419,478	3,933,425
負債合計	11,650,934	11,899,833
純資産の部		
株主資本		
資本金	623,200	623,200
資本剰余金	357,000	357,000
利益剰余金	6,320,170	6,282,670
自己株式	△107,415	△107,415
株主資本合計	7,192,955	7,155,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,481	51,226
繰延ヘッジ損益	163,475	12,857
為替換算調整勘定	9,241	19,702
その他の包括利益累計額合計	205,198	83,786
少数株主持分	181,416	184,042
純資産合計	7,579,570	7,423,283
負債純資産合計	19,230,505	19,323,117

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	8,451,421	8,314,200
売上原価	7,434,146	7,197,370
売上総利益	1,017,274	1,116,829
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△7,130	△3,126
報酬及び給料手当	252,014	239,204
賞与引当金繰入額	60,673	70,756
その他	695,536	669,229
販売費及び一般管理費合計	1,001,093	976,063
営業利益	16,181	140,766
営業外収益		
受取利息	1,221	977
受取配当金	1,122	1,293
持分法による投資利益	6,345	—
受取賃貸料	5,550	5,550
その他	5,963	13,965
営業外収益合計	20,203	21,787
営業外費用		
支払利息	30,593	25,821
持分法による投資損失	—	13,695
その他	6,097	7,500
営業外費用合計	36,690	47,017
経常利益又は経常損失(△)	△305	115,536
特別利益		
投資有価証券売却益	—	165
特別利益合計	—	165
特別損失		
固定資産売却損	—	243
固定資産除却損	608	—
特別損失合計	608	243
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△914	115,458
法人税、住民税及び事業税	5,761	5,589
法人税等調整額	17,406	72,023
法人税等合計	23,167	77,612
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△24,081	37,845
少数株主損失(△)	△1,688	△1,737
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△22,393	39,583

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△24,081	37,845
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,124	3,002
繰延ヘッジ損益	△185,523	△150,618
為替換算調整勘定	—	10,460
持分法適用会社に対する持分相当額	6,504	15,743
その他の包括利益合計	△181,143	△121,412
四半期包括利益	△205,225	△83,566
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△203,537	△81,829
少数株主に係る四半期包括利益	△1,688	△1,737

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。